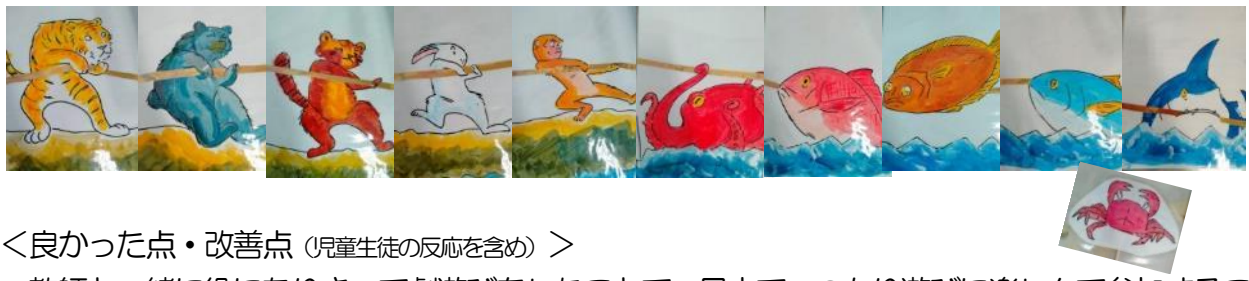
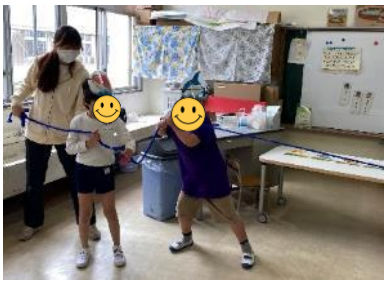
題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
「うみやまがっせん」	小	グループ学習 低学年　あじさい （国語）	

＜ねらい＞
・遊びを通して、みたて・つもり活動を楽しみ、教師や友達との関わりを豊かにする。
・絵本などの読み聞かせを通して、教師とやりとりしながら身振りや言葉で模倣する力を育てる。
・ものを自分から操作したり変化させたりして、結果が見通せるあそびをたっぷりと経験する。
・遊びの中で分かる言葉を増やすとともに、教師や友達に伝える力を育てる。

学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物
1．絵本 「うみやまがっせん」	・興味をもって読み聞かせを見聞きする。 ・「おーいだれか　きてくれ」「わっせわっせ」などの言葉を教師の読み聞かせに合わせて言う。 ・登場人物について、教師の質問に答える。	○「うみやまがっせん」 手作り絵本 長机２台
2．再現遊び 「うみやまがっせん」	・自分がしたい役のお面を選び、身につける。 ・場面にあった動作をしたり、セリフを言ったりする。 ・海側と山側にチームで別れて、ロープを引っ張り合う。	○登場人物のお面 ○長めの綱

＜内容（工夫点など）＞
　繰り返しの展開とセリフがある内容の絵本。グループ編成が児童７人と教師４人のグループだったため、登場人物が多く、劇遊びをするときに海の生き物と山の生き物で分かれて大人数で楽しむことができるものを選んだ。引っ張り合う時のせりふを歌にアレンジしたことで、リズムにのって歌ったり綱を引っ張り合ったりして楽しむことができた。
　絵本からイラストを描き起こし、A4 用紙１枚に１登場人物になるように教材を作成した。屏風状に広げられるようにして、物語の展開に合わせて広げていった。区切られていることで臨機応変に提示することができ、つなひきをする人数が増えていく様子が視覚的に分かりやすくなってよかった。



＜良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）＞
・教師と一緒に役になりきって劇遊びをしたことで、見立て・つもり遊びに楽しんで参加することができた。

・最後に糸を切るカニ役が人気だった。役割が偏らないように児童の希望を汲み取りながら大人が調整して配役を決めていったことで、全員がいろいろな役を体験することができた。